



日本医師会と日本医師連盟

中央区西支部 三谷郁生

このコラムをお読みになる方は大概ご存知のことと思われませんが、日本医師会は1916年発足し、現在会員数約16万6千を有する民間の学術団体であり、日本医師連盟（以後日医連）は、1948年12月14日設立され、「日本医師会会員相互の全国的連絡協調の下に、日本医師会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする」団体です。簡単に言えばロビー活動ということですか。日医連の下に、各都道府県医連があり、その下に郡市区医連があります。それぞれは独立した組織です。日医連の歴代委員長は医師会会長が務め、執行部もほぼ日本医師会と重複します。これは都道府県医連、郡市区医連も同様のようです。会員数は約7万ですので、医師会会員全員が加入しているわけではありません。建前は入会は任意とされていますが県連によっては半強制的のところもあるようです。北海道医師連盟は私の周りにも未加入の先生方がいらっしゃるのでもって任意といってしまう。会費を払わなくてもこれといったペナルティーもないようです。

恥ずかしながら私は、日医と日医連の関係が不明確なままで、日医連なるものが、日医といった何が違うのか、日医とは違うどんな活動を行っているのかを良く知りませんでした。日医も、道医も札医も、日医連も、道医連も札医連も、会長も執行部も同じですから、医師会としての発言なのか、医連としての発言なのか判別不能でした。というよりそんな区別などお互いに必要なかったのでしょうか。両者の区別など知らなくても医師会活動はできるわけですが、今回の政権交代の中で具体的に日医連が数億というお金を、自民党、あるいは議員個人に献金していることを、そして民主党への献金は

500万程度であったことを知りました。日医連は自民党を正に「票」と「金」で支えていたのです。「票」は当てにされなくなって久しくなりましたが、「金」のほうは相変わらずだったわけです。

日医連が集めるお金は15億以上といわれます。その大半を自民党、および自民党議員に献金していたのです。これでは日医執行部が民主党に挨拶に行っても会ってももらえないわけです。私は一体これほどのお金を日医連がどこから集めているかと疑問に思ったのですが、考えてみれば当然会員の負担金からです。負担金は道医連を例にとればA会員で診療報酬の0.3/1000（上限20,000円）が、毎月支払われる診療報酬より控除され、この中から、年額20,000円が日医連へ納入されます。負担金は都道府県により若干異なるようです。余談ですが郡市区医連もあり札医連にはA会員で年額24,000円（暦年で2度に分けて請求、もしくは口座より引き去り）別途負担しています。日医連は平成14年9月に策定した活動指針では「支持政党は政権与党である自民党」と明記されましたが、はるか以前より自民党を支持してきたわけですから、自民党は日医連からのこれまでの巨額の献金を一体何に使っていたのでしょうか。誠に政治にはお金がかかるようです。

さて、昨年8月30日の衆議院議員総選挙による政権交代を受けて、10月20日、日医連は執行委員会を開き、新たな医政活動に向け、総選挙の総括と今後の活動方針を表明しました。

総括の中で、社会保障費を削減し、地域医療を崩壊させてきた、そしてレセプトオンライン請求の完全義務化の撤廃にも応じない自民党に対し、日医連が何故自民党を支持し続けるの

か、会員に対する大義名分が失われたこと、マニフェストにしても民主党の医療政策のほうに分かりやすく具体的であったと率直に認めています。それでも尚、なぜ自民党であったのか。そのままの記述ですが、1)戦後、平時の国家安全保障の強化を進める立場の日本医師会は、政権与党と政策協議をする必要があり、長年にわたって、全国の医師連盟と地元の都道府県連との間に深い絆が築かれていた。2)政権与党であった自民党内に日本医師会の医療政策に理解を示し、政策実現に努力してくれた議員が少なからずいた。3)このような自民党との関係に偏り、日医連が自らの政治活動についての検証が不十分であった。4)民主党はかつて医療費適正化を主張していた。今回の選挙ではマニフェストが公表されるまで、民主党の医療政策が不明であり、さまざまな情報を加えて医療政策の詳細が明確になったのは、選挙戦の終盤であった。以上4点を挙げています。また、日医が日常のロビー活動において、政権与党である自民党に気を使うあまり、民主党他の野党に日医の医療政策を理解してもらう努力が足りな

かったことも、率直に認めています。要するに、昔からの自民党とのしがらみでにっちもさっちも行かなかったということでしょうか。

これらの分析と「反省」を元に、1)日医連は自民党支持を白紙撤回し、日医が与野党と医療政策を提言できる良好な関係構築に努力する。2)会員の多様な価値観を認め、是々非々で行動する。3)すべての会員の声が届くようにあらためて、ルールを確立し、かつ会員に情報公開を徹底する。4)日医と日医連と組織的に、より明確な形で分離する。といった活動方針を表明しました。与党との関係構築は容易ではないでしょう。日医会長が日医連会長を兼任するということはなくなるかもしれませんが、当然日医と日医連の行動方針は同じでなくてはならないでしょう。いずれにしても民主党は企業献金はなくしたいといっているようですし、15億以上のお金をどのように使われるのでしょうか。日医連には文字通り徹底した情報公開を望みます。

(みたに胃腸科内科)